

A-74 食品の嗜好について 第4報 嗜好係数と影響因子について
帯広大谷矩夫 O山下 昭 池添博彦

目的 嗜好に影響を与える要因は、居住環境、地理的条件、職業、性格および生活体験など多くのものがあるが、今回はそれらの内から、身体条件、性格、職業、兄弟の数などを挙げて嗜好との関連を分析した。

方法 個々の対象について、嗜好尺度の高いものおよび低いものについて加重を行ない、好嗜好係数(LFI)および嫌嗜好係数(DFI)を算出し、各グループのそれぞれ平均値を求めた。LFIおよびDFIについては、Iグループ： $(0 \leq \text{LFI or DFI} \leq \text{mean} - \frac{\text{S.P.}}{2})$ 、IIグループ： $(\text{mean} - \frac{\text{S.P.}}{2} < \text{LFI or DFI} < \text{mean} + \frac{\text{S.P.}}{2})$ 、IIIグループ： $(\text{mean} + \frac{\text{S.P.}}{2} \leq \text{LFI or DFI})$ の3群に分け、各々のグループについて年齢と性の違いによる各因子との関連性を解析した。またLFIおよびDFIの平均値により、A： $\text{LFI} \geq \text{mean}$; and $\text{DFI} < \text{mean}$ 、B： $\text{LFI} < \text{mean}$; and $\text{DFI} \geq \text{mean}$ 、C： $\text{LFI} \geq \text{mean}$; and $\text{DFI} \geq \text{mean}$ 、D： $\text{LFI} < \text{mean}$; and $\text{DFI} < \text{mean}$ の4群に分けて各群における諸因子との関連性を検討した。

結果、LFIの平均値は女性52.4、男性69.4、全体60.8で男性の方がやや大きく、DFIの平均値は女性74.7、男性60.9、全体69.3で女性の方が大きかった。LFIの分類では、女性はIIグループが、男性はIグループが多く、DFIでも同様に女性でIIグループが、男性でIグループの割合が大きかった。DFIは20才以下はIIグループ、21才以上はIグループが夫々多くなっていったが、全体ではIIグループの割合が高かった。A~D分類ではD群が男女共多く、次いでB群であった。